

# キッズサポート・くすのき 支援プログラム

## 療育理念

一人ひとりの思いを大切に受け止め、寄り添うことで

安心・笑顔を増やし、意欲や自信につなげる

## 支援方針

- ・子どもの主体性と人権を第一に尊重します。
- ・笑顔で賞賛することを基本とし、5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」のつながりを大切にしながら個々のペースに合わせた支援を行います。
- ・子ども本人と家庭、事業所、保育所、学校等での生活スキルの獲得を促します。
- ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等による、個別支援を行います。多職種の職員が知識や経験を活かし、お子様一人ひとりに合わせたプログラムを提供し、成長のお手伝いをします。

## 営業時間

月～土曜日（日・祝休み） 8：30-17：00  
年末年始（12/29～1/3）休み

## 送迎の有無

無し（保護者送迎）  
送迎時に、毎回活動の振り返りを行い、お子様の成長をサポートします。

## 職員の質の向上に関する取り組み

法人内で開催する研修や外部研修へ積極的に参加し、支援の質の向上を図ります。

## 主な行事等

避難訓練（不審者、風水害、地震、火災）の実施  
地域保育園との交流

# 支援内容

## 健康・生活

来所時の健康管理を行い、必要に応じて対応していきます。基本的な生活スキル（衣服の着脱、食事、排泄等）を習得し、自立を促します。日常生活での課題を整理し、療育場面で獲得したことを日常生活でも活かせるよう支援します。

## 運動・感覚

一人ひとりの課題に合わせた遊びや運動、季節の製作活動などを提供し、身体機能の維持・向上を図ります。お子様の特性に合わせて、環境に配慮し、楽しみながら活動に参加できるように支援します。

## 認知・行動

身の回りの物の機能や属性、機能や形などに注目し、知識を深めていけるよう促していきます。様々な活動を通して、試行錯誤しながら問題解決能力の向上を支援します。“できた！やりたい！”の経験を積み重ねながら、自信を付けてもらえるよう支援します。

## 言語・コミュニケーション

活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、コミュニケーションの楽しさを共有します。また、音声言語の獲得が難しい際は、言葉以外のコミュニケーション手段の獲得も支援していきます。

## 人間関係・社会性

お子様が楽しく活動に参加することで、職員との信頼関係を築きます。ルールや順番のある遊びを取り入れることで、社会性の発達を促します。感情のコントロールが難しいお子様には、気持ちに寄り添った声掛けに努め、情動のコントロール方法を身に付けていけるよう促します。

## 移行支援

日頃から保育所や併行通園先と連携を図り、必要に応じて訪問、担当者会議を行い、包括的な支援を行います。

## 家族支援

送迎時や、活動終了後に保護者と話す機会を設け、随時情報共有を行います。必要に応じて、面談や活動の見学を行い、不安や困りごとへの援助を行います。

## 地域支援

地域の保育園と交流する機会を提供します。また、各関係機関（相談支援事業所や園など）と連携を図り、支援方法の統一や、環境調整などに取り組みます。

# キッズサポート・くすのき 支援プログラム

## 療育理念

一人ひとりの思いを大切に受け止め、寄り添うことで

安心・笑顔を増やし、意欲や自信につなげる

## 支援方針

- ・子どもの主体性と人権を第一に尊重します。
- ・笑顔で賞賛することを基本とし、5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」のつながりを大切にしながら個々のペースに合わせた支援を行います。
- ・子ども本人と家庭、事業所、保育所、学校等での生活スキルの獲得を促します。
- ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等による、個別支援を行います。多職種の職員が知識や経験を活かし、お子様一人ひとりに合わせたプログラムを提供し、成長のお手伝いをします。

## 営業時間

月～土曜日（日・祝休み） 8：30-17：00  
年末年始（12/29～1/3）休み

## 送迎の有無

無し（保護者送迎）  
送迎時に、毎回活動の振り返りを行い、お子様の成長をサポートします。

## 職員の質の向上に関する取り組み

法人内で開催する研修や外部研修へ積極的に参加し、支援の質の向上を図ります。

## 主な行事等

避難訓練（不審者、風水害、地震、火災）の実施

# 支援内容

## 健康・生活

来所時の健康管理(検温・保護者からの情報共有)を行い、必要に応じて対応していきます。体調が悪い時などは、自分で伝えられるよう支援します。  
本人の発達段階と生活環境を把握し、生活上のスキル(衣服の着脱、身だしなみ、食事、排泄等)を習慣化し、自立を促します。

## 運動・感覚

一人ひとりの課題に合わせた遊びや運動、季節の製作活動などを提供し、身体機能の維持・向上を図ります。  
お子様の特性に合わせて、環境に配慮し、楽しみながら活動に参加できるように支援します。  
長時間じっと座ることが苦手、騒がしい場所が苦手、お友達との関わりが苦手など、学校生活への参加に困難さを感じているお子様には、特性に合った対処法を考え、必要に応じて学校とも連携を図り安心して過ごせるよう支援します。

## 認知・行動

プリント課題やゲームを通して、数量の概念や計算能力の獲得を促します。  
平仮名や片仮名などの文字の読み書きを習得できるよう、様々な活動を通して、試行錯誤しながら問題解決能力の向上を支援します。  
“できた！やりたい！”の経験を積み重ねながら、自信を付けてもらえるよう支援します。

## 言語・コミュニケーション

意思表示の難しいお子様には、小さな変化にすぐ気付けるようにし、観察を行います。  
困りごとを相手に伝え、上手に相手を頼る力を身に付けられるよう支援します。  
自分の想いを相手に伝えることができるよう、一緒にどのように表現したら良いのか考えていきます。

## 人間関係・社会性

お子様の気持ちに寄り添った声掛けに努め、お子様との信頼関係を構築していきます。  
感情のコントロールや、他者との適切なかわり方を学ぶために、必要に応じてソーシャルスキルトレーニングを行います。

## 移行支援

日頃から学校や併行通園先と連携を図り、必要に応じて訪問、担当者会議を行い、包括的な支援を行います。

## 家族支援

送迎時や、活動終了後に保護者と話す機会を設け、随時情報共有を行います。  
必要に応じて、面談や活動の見学を行い、不安や困りごとへの援助を行います。

## 地域支援

各関係機関(相談支援事業所や学校など)と連携を図り、支援方法の統一や、環境調整などに取り組みます。